

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第67期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社サンテック

【英訳名】 Sanyo Engineering & Construction Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 八幡 欣也

【本店の所在の場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 - 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 - 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社サンテック広島支社
(広島市中区大手町五丁目3番18号)
株式会社サンテック大阪支社
(大阪市北区中津一丁目7番8号)

(注) 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期 連結累計期間	第67期 第3四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	21,374,957	28,405,568	33,126,746
経常利益 (千円)	246,838	1,600,897	861,147
四半期(当期)純利益 (千円)	118,986	954,900	432,683
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	402,510	1,271,244	979,954
純資産額 (千円)	27,402,593	29,034,665	27,979,945
総資産額 (千円)	37,761,533	39,814,491	40,670,021
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	5.56	44.60	20.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	72.6	72.9	68.8

回次	第66期 第3四半期 連結会計期間	第67期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	18.14	15.04

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済対策や金融政策を背景に円安・株高を追い風として、個人消費や企業業績は改善の動きを見ることができ、国内景気は緩やかながらも回復基調にありました。しかしながら、海外経済においては、欧州経済の停滞や新興国の経済不安などの要因もあり、景気の動向は先行き不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、復興関連工事への予算拡大による公共工事の増加や国内需要の増加を背景とした民間工事にも投資加速の動きがありましたが、労務単価・資材価格の上昇などの影響により、受注競争は一層厳しい環境にありました。

このような受注環境のもと、当社グループは営業力の強化を重点課題として、安定的な受注量および適正利益の確保に向け、太陽光発電所建設工事など再生可能エネルギー関連工事の施工実績拡大や新規顧客開拓を積極的に推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高284億13百万円（前年同四半期比8.6%増）、売上高284億5百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。収益面では工事利益率の改善などの影響で営業利益9億31百万円（前年同四半期は、営業損失4億41百万円）、経常利益16億円（前年同四半期は、経常利益2億46百万円）、四半期純利益9億54百万円（前年同四半期は、四半期純利益1億18百万円）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

当第3四半期連結累計期間の売上高は182億92百万円（前年同四半期比50.8%増）となり、営業利益は13億60百万円（前年同四半期は、営業利益2億59百万円）となりました。

（東南アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は80億92百万円（前年同四半期比8.1%増）となり、営業利益は2億69百万円（前年同四半期は、営業利益42百万円）となりました。

（その他アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は20億43百万円（前年同四半期比13.4%増）となり、営業利益は13百万円（前年同四半期は、営業損失7百万円）となりました。

なお、「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億55百万円減少し、398億14百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等7億21百万円の増加に対し、現金預金6億96百万円および未成工事支出金9億95百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億10百万円減少し、107億79百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金2億77百万円の増加に対し、支払手形・工事未払金等22億10百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億54百万円増加し、290億34百万円となりました。主な要因は、利益剰余金7億40百万円の増加などによるものです。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,805,000	23,805,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は、 1,000株であります。
計	23,805,000	23,805,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		23,805,000		1,190,250		2,007,002

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,394,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,166,000	21,166	
単元未満株式	普通株式 245,000		
発行済株式総数	23,805,000		
総株主の議決権		21,166	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が542株含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	2,394,000		2,394,000	10.05
計		2,394,000		2,394,000	10.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,939,225	11,242,800
受取手形・完成工事未収入金等	12,433,964	13,155,135
有価証券	1,299,911	1,799,176
未成工事支出金	1,403,404	408,267
繰延税金資産	147,243	79,183
その他	1,843,055	1,433,785
貸倒引当金	1,658,492	1,816,861
流動資産合計	27,408,314	26,301,487
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,769,155	3,789,308
その他(純額)	1,775,205	1,826,791
有形固定資産合計	5,544,361	5,616,100
無形固定資産		
	72,515	56,483
投資その他の資産		
投資有価証券	3,577,471	3,781,771
投資不動産(純額)	3,590,761	3,573,247
その他	753,798	763,611
貸倒引当金	277,200	278,210
投資その他の資産合計	7,644,830	7,840,420
固定資産合計	13,261,707	13,513,003
資産合計	40,670,021	39,814,491
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	8,628,154	6,417,687
未払法人税等	360,571	405,697
未成工事受入金	1,767,502	2,044,643
完成工事補償引当金	16,000	16,000
工事損失引当金	147,045	35,998
賞与引当金	59,413	-
その他	771,350	876,726
流動負債合計	11,750,038	9,796,754
固定負債		
繰延税金負債	308,106	384,819
退職給付引当金	39,495	35,030
役員退職慰労引当金	267,926	281,896
その他	324,509	281,326
固定負債合計	940,038	983,071
負債合計	12,690,076	10,779,826

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	2,007,002
利益剰余金	25,173,550	25,914,308
自己株式	950,961	953,343
株主資本合計	27,419,840	28,158,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453,249	600,237
為替換算調整勘定	106,854	276,211
その他の包括利益累計額合計	560,104	876,448
純資産合計	27,979,945	29,034,665
負債純資産合計	40,670,021	39,814,491

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,374,957	28,405,568
売上原価	19,494,038	25,040,995
売上総利益	1,880,918	3,364,573
販売費及び一般管理費	2,322,912	2,433,280
営業利益又は営業損失()	441,994	931,292
営業外収益		
受取利息	16,105	15,520
受取配当金	39,685	57,355
受取地代家賃	263,690	238,104
為替差益	357,172	302,009
持分法による投資利益	14,414	20,312
その他	140,280	171,940
営業外収益合計	831,349	805,243
営業外費用		
支払利息	9,987	-
不動産賃貸費用	80,391	78,411
その他	52,136	57,227
営業外費用合計	142,515	135,638
経常利益	246,838	1,600,897
特別利益		
固定資産売却益	5,569	2,620
特別利益合計	5,569	2,620
特別損失		
固定資産除却損	4,812	2,490
ゴルフ会員権評価損	12,515	-
ゴルフ会員権退会損	-	1,000
その他	2,031	2
特別損失合計	19,359	3,492
税金等調整前四半期純利益	233,049	1,600,025
法人税等	114,063	645,124
少数株主損益調整前四半期純利益	118,986	954,900
少数株主利益	-	-
四半期純利益	118,986	954,900

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118,986	954,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267,121	146,987
為替換算調整勘定	16,402	169,356
その他の包括利益合計	283,524	316,343
四半期包括利益	402,510	1,271,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,510	1,271,244
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	187,883千円	183,173千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	214,152	10	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	214,143	10	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,098,005	7,484,270	1,792,681	21,374,957		21,374,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,920		9,175	44,095	44,095	
計	12,132,925	7,484,270	1,801,856	21,419,052	44,095	21,374,957
セグメント利益又は 損失()	259,739	42,168	7,022	294,884	736,879	441,994

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 736,879千円には、セグメント間取引消去 27,140千円、配賦不能営業費用 709,738千円が含まれております。配賦不能営業費用は、主に親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー
(2) その他アジア : 中国、台湾

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,270,632	8,092,257	2,042,678	28,405,568		28,405,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,500	114	550	22,164	22,164	
計	18,292,132	8,092,372	2,043,228	28,427,732	22,164	28,405,568
セグメント利益	1,360,578	269,677	13,261	1,643,517	712,224	931,292

(注)1 セグメント利益の調整額 712,224千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー
(2) その他アジア : 中国、台湾

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	5円56銭	44円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	118,986	954,900
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	118,986	954,900
普通株式の期中平均株式数(株)	21,415,241	21,411,018

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月13日

株式会社サンテック

取締役会 御中

東邦監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 矢 崎 英 城 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小 林 広 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。